

令和5年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・数年においてどの学年も落ち着いて主体的に授業に参加し、意欲をもって制作に取り組んでいた。
- ・個別指導の時間をより拡充し、生徒個々のアイデアや考えを聞きながら、よりよい表現に繋がるよう指導を行うことができた。
- ・指導や声掛けを細めに行い、昨年度も最終的にほとんどの生徒が清陵祭展示に展示をすることができた。
- ・ICTを活用した分かりやすく丁寧な教材を提示し、生徒の理解力と制作意欲を引き出す指導をすることができた。

(2) 課題

- ・作品制作にて作業進度が遅く、より制作に時間をかけられるような時間設定・授業展開を行う必要がある。
- ・アイデアを表象化できない、課題から想像することが困難な生徒が一定数みられたため、個別指導の方法を変え、より充実させる必要がある。
- ・昨年度の反省も生かし、より理解やすい説明や授業展開を検討していく必要がある。

2 授業改善のポイント

(1) 知識・技能

- ・すでに使用しているタブレットのアプリケーションや動画教材などをさらに改良し、より多様な生徒が理解しやすいような授業改善を行う。
- ・研究等で学んだ情報を生かし、新しい教材や副教材を使用して、引き続き丁寧で安全な個別指導を心がけ、生徒がより高度な知識・技能を身に付けられるような補助を行う。

(2) 思考・判断・表現

- ・生徒がより活用しやすく、深く思考し表現できるようなワークシートや補助教材を改良し、使用していく。
- ・さまざまな作品鑑賞や考えに触れる機会を多く取り入れ、授業の活動を通して多様な価値観や新しい考え・発想に出会える機会を設定する。

(3) 主体的に授業に取り組む態度

- ・ICTを活用して生徒が自らの制作や作業計画を振り返り検討を重ねられるような仕組みを考え、取り入れていく。
- ・清陵祭展示以外でも学年間を超えた学校全体で作品を共有する環境を整えていく。